

AMDAの軌跡振り返る

アジア医師連絡協・菅波代表が本を出版

「国際貢献都市・岡山」も提唱

アジア十五の国、地域の医師で構成する「アジア医師連絡協議会」(AMDA)

の菅波代表(右)がこのほど、自らが著した本「遥(はるか)なる夢―国際医療貢献と地域おこし」を出版した。アジアへの関心を最初に抱いた高校二年の夏から三十年、自らの節目として執筆した。AMDAの軌跡を振り返りながら、「国際貢献都市・岡山」構想を提唱している。



菅波茂代表

同本はA5判、約三百頁。日本にある非政府組織(NGO)が初めて行動を共にした「ソマリア難民救済プロジェクト」や緊急医療チーム「アジア多国籍医師団」

の結成、御津郡加茂川町とのジョイントなど、次々と新しいNGOの活動の在り方を示してきたAMDAの歴史をひも解きながらNGOのメッカとしての「国際貢献都市・岡山」構想など、今後の活動の五つの軸について熱っぽく語っている。

た「沖縄」の三都市が国際平和の実現を目指す情報源としてネットワークを組むことを提案している。

本では、AMDAが進めているネパール・ブータン難民の援助活動など、計十一プロジェクトについて説明。活動の過程で知り合い共鳴した国内外四十七人の紹介にもページを割いた。菅波さんは「国際貢献と地域おこしという現代日本の二大テーマに、ささやかな一石を投じたい」と話している。



「国際貢献都市・岡山」を訴える「遥なる夢」

さびに日本にしかできない国際貢献の形として、岡山と国際平和都市「広島」、歴史的にアジアの接点であり、第二次世界大戦で国内唯一、地上戦の舞台となっ

発行はAMDAで、初版五千部を印刷。消費税込みで二千五百円。申し込み、問い合わせはAMDA 086(2884)7730。